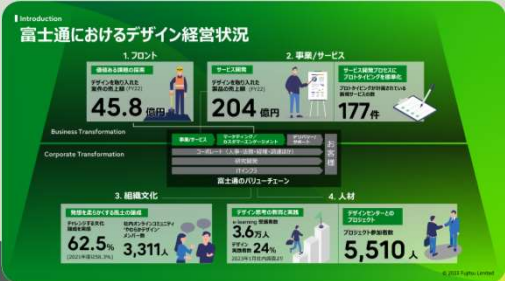




FUJITSU DESIGN CENTER

センター長
TESUYA UDA
宇田 哲也

Copyright 2024 FUJITSU LIMITED



IR Day 2024
富士通株式会社
Fujitsu Limited
2024年9月10日

Fujitsu
IR Day
2024

POLI.DESIGN
FOUNDED BY FUJITSU DESIGN CENTER

Transformation
by Design

デジタルトランスフォーメーションに貢献する
デザイン戦略とサービスブランディング

shaping tomorrow with you

デザイン思考
テキストブック

Introduction
富士通のデザイン経営ビジョン

お客様からの強い共感や競争力の強い商品を生み出すために、
全ての企業活動でデザイン思考を実践する

富士通のデザイン経営を推進するためにはビジネスの改革が必要であり、それを実現するコーポレートの変革が同時に求められる。

1 デザイン思考のポイント

- 「人」視点で考える
- 多様な人々を巻き込む
- 素早く作って繰り返し試す

Design

Fujitsu
デザイン白書
2023

健康的な自分へ、一歩先
Step ahead to a healthier



富士通におけるデザイン経営状況

1. フロント

価値ある課題の探索

デザインを取り入れた
案件の売上額 (FY22)

45.8 億円



2. 事業/サービス

サービス開発

デザインを取り入れた
製品の売上額 (FY22)

204 億円



サービス開発プロセスに プロトタイピングを標準化

プロトタイピングが計画されている
新規サービスの数

177 件



Business Transformation

Corporate Transformation

事業/サービス

マーケティング/
カスタマーエンゲージメント

デリバリー/
サポート

お客様

コーポレート（人事・法務・経理・調達ほか）

研究開発

ITインフラ

富士通のバリューチェーン

3. 組織文化

発想を柔らかくする風土の醸成

チャレンジする文化
醸成を実感

62.5%
(2021年度は58.3%)

社内オンラインコミュニティ
"やわらかデザイン"
メンバー数

3,311 人



4. 人材

デザイン思考の教育と実践

e-learning 受講者数

3.6 万人

デザイン
実践者数 **24%**

2023年1月社内調査より

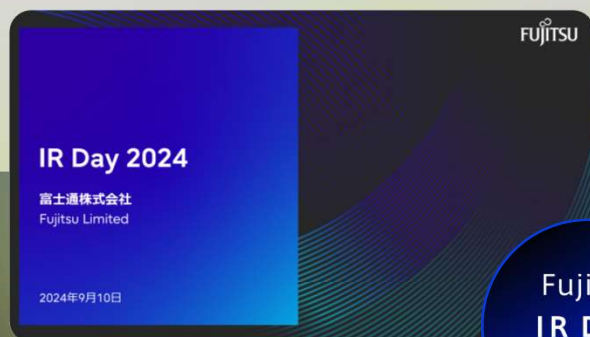


デザインセンターとの プロジェクト

プロジェクト参加者数

5,510 人





Fujitsu
IR Day
2024



IR Day 2024

富士通株式会社

Fujitsu Limited

2024年9月10日



健康的な自分へ、一步先へ
Step ahead to a healthier you.



デザイン思考
テキストブック

1. デザインの意味

1.1 デザインを定義する

ビジネスをはじめ多様な領域において、デザインが議論の中心になることが増えています。しかしながらデザインとは様々な論点を含む複雑なテーマであり、その全容を明快に説明することは困難です。この語が使われる状況によっても、その意味や特質が大きく異なります。

言語学的には「デザイン」という語はまず、「デザインする」「プロジェクトを実施する」という動詞として使われます。プロジェクトという概念は、将来の目標に対して「前方に投げる」行為を意味するラテン語の「pro-jectus」に由来します。つまり動詞として使う場合は、私たちの未来、あるいはもっと広い意味でよりよい未来のために何かを創造することを意味します。同様に、プロジェクトに関連した活動やスキルを指すとき、「デザイン」を名詞として使うこともできます。さらに最近では形容詞的に使われることもあり（デザイナーの服、デザイナーの靴など）、興味深い販促価値があります。ここでいう「デザイン」とは、製品やその制作過程、コストまで含めたスタ

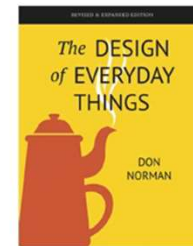
イルに関する品質を指すのです。

イギリスの作家でデザイン史家のジョン・ヘスケット (John Heskett) は、著書『Design. A very short introduction』(2002)で、デザインという言葉の意味はきわめて多岐にわたり、その複雑なものを解きほぐすのはほぼ不可能であるとしてこう述べています。「デザイン(中略)」という語はとても身近なもののですが、多くの矛盾も内包しています。無数の表現方法が存在し、その定義について明快な導引ができません(中略) デザインはそれ自体があまりにも多くの意味を持つため、混乱の源にもなっています」

デザインとは複雑な分野であることを念頭に、導入としてこのトピックに関する様々な視点をまとめた上で、その定義づけに役立つ興味深い最新の動きをいくつか紹介していきます。

イタリアの百科事典『Treccani Encyclopedia』(2006)におけるデザインの定義として、イタリアの建築家でデザイナーのアンドレア・ブランジ (Andrea Branzi) は、デザインを大衆の現象であるとしています。

1. ジョン・ヘスケット
2. ドン・ノーマン



「The Design of Everyday Things」(邦訳「暮らしのためのデザイン」 旺文堂) 学書のデザイン(原稿)

「デザインは一般大衆の現象になりました。『大衆』という表現は否定的な意味ではありません。工業プロダクトのデザインを指して、イノベーション戦略や未来シナリオ作成といった新たな社会活動としてのデザインに切り組む人の数は増え続けています。名作として扱われるような個別のプロダクトを中心としたデザインの旧型の時代は終わりを迎え、新しい時代では、デザインが社会経済における主要な手段の仲間入りを果たしたのです」

2015年10月の第29回総会において、世界デザイン機構(WDO、旧ICSID、国際インダストリアルデザイン団体協議会)は、最も有効で現代的なデザインの定義のひとつを次のように紹介しました。

「工業デザインは戦略的な問題解決プロセスであり、イノベーションを促進してビジネスに成功をもたらす、イノベティブな製品やシステム、サービス、ユーザーエクスペリエンスを通して生活の質の向上を導きます。現在の状態と、これから改善可能な状態とのギャップを埋めるのが工業デザインの仕事です。創造性を発揮し、プロダクトやシステム、サービス、エクスペリエンス、ビジネスをよりよくするために問題を解決し、ソリューションをともに作り出す学際的な専門職です。工業デザインは本質的に、問題を機会としてとらえ直し、より楽観的な将来の見通しを導きます。イノベーションやテクノロジー、研究、ビジネス、顧客をつなぎ、経済や社会、そして環境面にわたって新たな価値や競争上の優位性を提供します」

デザインとは、戦略的意義の深いプロセスであり、問題解決のツールであり、ビジネスの成功につながる

るイノベーションを可能にする手段です。この定義は第一に、デザインが取り組む領域を規定します。今日では、デザインの対象は工業製品にとどまらず、システムやサービス、エクスペリエンスにまで拡張されています。この定義によって次に際立つのは、デザインの特長です。製品やプロセス、サービス、エクスペリエンスがよくデザインされ機能するとき、目覚ましい結果が生まれます。この成果は、人々の生活の向上や新しい経済価値の創出というかたちで現れます。

21世紀初頭まで、デザインする対象のほとんどは工業製品でした。ゆえにデザインという言葉の意味も「工業デザイン」のそれとほぼ同様でした。デジタル技術の出現と、それが引き起こした技術革命が急速な変化をもたらし、システムやサービス、エクスペリエンスをつくり出す上で、デザインはとりわけ重要な要件になりました。今やユーザーエクスペリエンスはあらゆるビジネスモデルにとって最も重要な要素になっています。

ユーザーエクスペリエンスの父といわれるアメリカの研究者・作家・教授のドン・ノーマン(Don Norman)は、「ユーザーエクスペリエンスには、企業やそのサービス、製品とエンドユーザーとの相互作用といったあらゆる側面が含まれている」、つまりエクスペリエンスがすべてだと断言的に語っています。ここでは、WDOの定義が強調するように、現状と望ましい状況とのギャップを埋めるために、デザインは先見の役割を果たします。

1
今日のデザインと
その役割



① グローバル展開の強化



② デザイン専門人材の育成



③ 部門間の連携強化